

個別活動 モンテッソーリ活動

大 好 き お 仕 事

ニドのモンテッソーリ活動



○トレー付きのボール

ボールを掴み手を左右上下に動かして「どうしたらはいるかな？」と考える姿があります。一度入れることが出来ると落とす感覚をつかみ、何度も繰り返し穴にボールを入れて楽しんでいます。



○楽器（クラッカー）

手や足を動かして一生懸命楽器に手を伸ばして動かそうとする姿があります。手が届くと右手や左手にクラッカーを持ちかえながら音を鳴らし楽器の音を楽しんでいる姿があります。

I Cのモンテッソーリ活動



ボタンをはめる

自分の目と指を使ってボタンはめを楽しんでいます。はめているときは真剣そのもの、1つはまるごとに笑顔になり満足感を味わっています。



環境への配慮

床が濡れていると拭いてくれる高月さんの姿をみて拭いてくれました。そこにあったはずの水が拭くとなくなるのが楽しくて仕方がない様子で、濡れている所を探して拭いてくれました。

プライマリーのモンテッソーリ

最近、年中児は「銀行遊び」と呼ばれるたしざんの活動に取り組んでいます。

この活動は、2～3人の子どもがそれぞれ持っている小さなカードに書かれた数に対応するビーズを、お盆を持って「銀行」へ取りに行くところから始まります。子どもたちはビーズを受け取った後、「カードの数と合っているかな？」と指先で数えながら確かめます。そして全員がそろったら、自分のビーズを広げた風呂敷敷の上にそっとまとめます。

目の前でビーズが「合わせられる」瞬間、大人の説明よりも早く、子どもたちは「小さな数が集まると大きな数になる」という足し算の基本的な印象を自然と感じ取ります。指で触れ、目で確かめ、最後に風呂敷敷を持ち上げて量の変化を見届ける経験は、幼児期ならではの深い理解につながる大切な過程です。

活動を通して「数が増える」「合わせるとこうなる」といった感覚が芽生えるだけでなく、教具を丁寧に扱うこと、順番を待つこと、仲間と協力してまとめることなど、グループで進めるからこそ得られる経験も豊かです。

写真からも、子どもたちが集中して活動に向き合う姿が伝わればうれしく思います。

銀行あそび (たしざん)

